

令和3年度 社会福祉法人みどり市社会福祉協議会

事業報告書及び付属明細書

【概況報告】

令和元年度末、日本国内でも急拡大した新型コロナは、類を見ない程の感染力で我々の日常生活を脅かしています。沈静化をめざしワクチン接種や一人ひとりが感染防止対策を講じていますが、新たな変異株の出現もあり、感染者数は増減を繰り返している状況で、国民の健康・生活・経済へ未だに大きな影響を与えています。

群馬県では「社会経済活動再開に向けたガイドライン」を作成し、またみどり市でも「新しい生活様式」を示し、会議・イベントの開催や職場・地域活動時において基本的な感染対策・生活様式を要請していますが、コロナ禍以前の生活に戻るには時間がかかりそうな状況です。さらに、この影響で離職者や所得が大幅に減少する人々が増加傾向にあり、生活困窮者への支援策も重要な課題となっています。

その状況下で、第3期みどり市地域福祉計画・地域福祉活動計画（令和2～6年度）に基づき、コロナ禍においても、どうすれば事業を継続していけるか、福祉を必要としている人に寄り添えるかを検討し、事業体制も整えながら継続的に実施して参りました。

日常生活自立支援事業では、令和4年度からの基幹化に向けて、桐生市社会福祉協議会と連携し準備を進めました。

高齢者福祉事業では、介護予防教室について、感染防止対策を徹底した上で開催し、高齢者のフレイル防止に努めました。

生活福祉資金貸付事業及び生活困窮者自立支援事業では、両事業で連携し、生活困窮世帯の自立に向けた支援に取り組みました。昨年度に引き続き、生活福祉資金だけでなく、フードバンクやフードドライブを活用した食料品を提供し、生活再建に向けた支援に取り組みました。

学童保育所（親老児童館及び笠懸東学童クラブ）及び障害者福祉センターでは、感染防止対策を徹底しつつ開館し、児童の健全育成並びに障がい者の生活支援のためサービスを提供してきました。同様に、介護事業所では、高齢者の生活支援のために休むことなくサービスを提供してきました。

組織体制として、令和4年度からの在宅福祉センターの開設及び介護事業所の統合に向け会議を重ね、準備を進めました。また、いつ起きるか分からない災害に備え、社協職員としての心構えを身につけるための研修を実施しました。

今後とも本会では、新型コロナへの感染防止対策に万全を図りながら、引き続き市民サービスの向上をめざし、さらに災害時においても本会事業（サービス）を継続できるよう事業継続計画（BCP）づくりを進め、各種事業の展開を図って参ります。

ここに改めて市民のみなさんをはじめ、ご支援、ご協力いただいた関係各位に感謝申し上げますとともに、本会では引き続き市民サービスを停滞させることなく各種事業に取り組んで参りますので、今後とも地域福祉推進のため、一層のご理解とご協力をお願いいたします。

- 凡例
- ※1 各種事業の詳細は、付属明細書として記載しています。
 - ※2 表中にある（ ）内の数字は前年度との比較を示しています。
 - ※3 「社会福祉法人みどり市社会福祉協議会」を「みどり市社協」と表記しています。
 - ※4 「新型コロナウイルス感染症」を「新型コロナ」と表記しています。

■ 法人運営

(成果)

- 1 本会の運営等をより理解いただくため、市民向けのチラシを分かりやすくしたことで、多くの方に社協事業へ賛同いただくことができ、会費は昨年度よりも増額した。
- 2 広報紙では、写真・イラストを使い、視覚的にも分かりやすい紙面づくりに努めた。ホームページではリニューアルに向けて打ち合わせを重ね、運用に向けて準備を進めた。
- 3 Web会議ツール（Zoom等）を用いた会議が多くなる中、パソコンをWebカメラ搭載のものに入れ替えたり、外付けのWebカメラを購入することで設備を整えることができ、研修体制の充実化につながった。

(課題)

- 1 事業面だけでなく、事業継続計画の策定など社協として早急に取り組むべき内容について、近隣社協や群馬県社協と情報交換を行い、連携を密にしていく必要がある。
- 2 広報の方法について、タイムリーな情報をすぐに提供できる方法であるSNSやメール配信といった方法を今後検討していく必要があるが、令和3年度は検討するまでには至らなかった。

1 理事会、理事専門部会、評議員会、監査、正副会長常務理事会議、評議員選任・解任委員会、苦情解決第三者委員会等の開催

(1) 理事会の開催

【第1回理事会】

令和3年6月4日 笠懸保健センター 講習講座室

報告第1号

みどり市社協理事及び評議員の交代について

報告第2号

次期役員候補者の定時評議員会への推薦について

報告第3号

会長及び常務理事の職務執行状況報告について

報告第4号

専決処分（みどり市社協令和2年度第3回収支補正予算）の報告について

議案第1号

みどり市社協顧問の委嘱について

議案第2号

みどり市社協苦情解決第三者委員の選任について

議案第3号

みどり市社協令和2年度事業報告の承認について

議案第4号

みどり市社協令和2年度決算の承認について
監査報告

議案第5号

令和3年度定時評議員会の開催について

【第2回理事会】

令和3年6月21日 みどり市立厚生会館 第1・第2会議室

議案第1号

みどり市社協会長、副会長及び常務理事の選定について

- 【第3回理事会】** 令和3年11月16日 笠懸保健センター 講習講座室
 報告第1号 みどり市社協会長及び常務理事の職務執行状況報告について
- 議案第1号 みどり市社協令和3年度第1回収支補正予算の設定について
- 議案第2号 福祉サービス利用援助事業の実施について
- 議案第3号 福祉サービス利用援助事業の実施に伴う定款の一部変更について
- 議案第4号 みどり市社協令和3年度第2回評議員会の開催について
- その他 (1)令和4年度組織体制の整備について
 (2)新型コロナ感染拡大防止の影響を受けた主な事業について

- 【第4回理事会】** 令和4年3月17日 みどり市立厚生会館 第1・第2会議室
 議案第1号 理事候補者の評議員会への推薦について
- 議案第2号 評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について
- 議案第3号 職員就業規則及びパート職員等の就業規則の一部改正について
- 議案第4号 役員等賠償責任保険について
- 議案第5号 令和4年度事業計画の策定について
- 議案第6号 令和4年度収支予算の設定について
- 議案第7号 令和3年度第3回評議員会の開催について

(2) 評議員会の開催

【第1回評議員会】 書面開催（決議された日：令和3年5月25日）

- 議案第1号 みどり市社協理事の選任について

【定時評議員会】 令和3年6月21日 みどり市立厚生会館 第3会議室

- 報告第1号 みどり市社協理事及び評議員の交代について
- 報告第2号 専決処分（みどり市社協令和2年度第3回収支補正予算）の報告について
- 議案第1号 みどり市社協任期満了に伴う次期役員の選任について
- 議案第2号 みどり市社協令和2年度事業報告の承認について
- 議案第3号 みどり市社協令和2年度収支決算の承認について
 監査報告

【第2回評議員会】令和3年11月30日 みどり市立厚生会館 第3会議室

報告第1号 福祉サービス利用援助事業の実施について

議案第1号 みどり市社協令和3年度第1回収支補正予算の設定について

議案第2号 福祉サービス利用援助事業の実施に伴う定款の一部変更について

その他 (1)令和4年度組織体制の整備について
(2)新型コロナ感染拡大防止の影響を受けた主な事業について

【第3回評議員会】令和4年3月29日 みどり市立厚生会館 第3会議室

議案第1号 令和4年度事業計画の策定について

議案第2号 令和4年度収支予算の設定について

その他 (1)理事の選任にかかる評議員会に代わる書面表決の実施について

(3) 監査の開催

令和3年5月27日 みどり市社協 本所

(4) 正副会長常務理事会議の開催

第1回	令和3年	4月	13日	みどり市社協本所
第2回	〃	5月	10日	
第3回	〃	5月	17日	
第4回	〃	5月	24日	
第5回	〃	6月	8日	
第6回	〃	7月	13日	
第7回	〃	9月	14日	
第8回	〃	10月	12日	
第9回	〃	11月	2日	
第10回	〃	12月	14日	
第11回	令和4年	1月	18日	
第12回	〃	2月	8日	
第13回	〃	3月	4日	

(5) 評議員選任・解任委員会の開催

第1回 令和3年5月27日 みどり市社協 本所

(6) 苦情解決第三者委員会の開催

第1回 令和3年7月26日 みどり市社協 本所

2 会員制度の充実強化

住民会員制度を基礎とし、本会の趣旨に賛同する個人に対して一般会員及び特別会員として協力いただき、法人の基盤強化並びに地域福祉の推進を図った。

会費区分	基本単価	件数	金額
一般会費	1世帯 500円	15,079世帯 (+103)	7,540,500円 (+51,500)
特別会費	1世帯 2,000円	14世帯 (±0)	28,000円 (±0)
合計		15,093世帯 (+103)	7,568,500円 (+51,500)

3 諸規程及び要綱の整備

法律の改正に伴い本会の就業規則について改正が必要な部分の改正を行った。
また、職員及びその同居家族が新型コロナに感染した場合等に、業務を円滑に進め、かつ感染拡大防止の観点から対応マニュアルを整備した。

4 情報共有の推進及び情報漏洩防止の推進

Mフィルターサーバーシステムを使用し、各部署間で迅速な情報共有に努めた。
また、コンピューターウイルスによる情報漏洩を防止するため、迷惑メール情報について情報を共有し注意を促した。

5 福祉活動研修事業の充実

【法人運営関係】

- ・改正女性活躍推進法、パワーハラスメント防止対策に関するオンライン説明会（Web開催）
- ・令和3年度市町村社会福祉協議会経理研修会（Web開催）
- ・甲種防火管理再講習
- ・令和3年度第1回市町村社会福祉協議会会長会・県社協市町村社協部会
- ・令和3年度市町村社協会長セミナー
- ・令和3年度市町村社協トップセミナー
- ・社会福祉法人理事・評議員・施設長 ICT研修（Web開催）
- ・令和3年度 桐生地域自殺対策連絡会議（Web開催）
- ・令和3年度市町村社協事業継続計画（BCP）策定研修会（Web開催）
- ・「災害発生時に社協は何ができるか」研修会
- ・令和3年度第1回群馬県内社協職連協役員会・総会・研修会（Web開催）
- ・令和3年度群馬県内社協職連協パワーアップ研修会
- ・令和3年度群馬県内社協職連協 地域福祉活動研修会（Web開催）

【地域福祉関係】

- ・令和3年度重層的支援体制整備事業に係る市町村等説明会（Web開催）
- ・福祉教育担当者会議（Web開催）
- ・全国福祉教育推進員研修（Web開催）
- ・福祉教育セミナー（Web開催）
- ・令和3年度日常生活自立支援事業専門員等研修会（Web開催）
- ・令和3年度日常生活自立支援事業専門員新任者研修Ⅱ（Web開催）
- ・令和3年度福祉サービス利用援助事業管内事務担当者会議
- ・令和3年度日常生活自立支援事業生活支援員養成講座
- ・群馬県ふくし総合相談支援事業全体会議・相談員基礎研修会（Web開催）
- ・群馬県ふくし総合相談支援事業なんでも福祉相談員地区別連絡会議
- ・令和3年度成年後見制度利用促進に関する連絡協議会（Web開催）
- ・心配ごと相談員研修会

【在宅福祉関係】

- ・生活支援コーディネーター養成研修（Web開催）
- ・生活支援コーディネーターブロック別情報交換会（東部ブロック）（Web開催）
- ・みどり市地域ケア会議
- ・在宅医療介護連携センター運営会議（書面）
- ・エンディングノート普及啓発委員会

- ・みどり市自立支援型地域ケア個別会議
- ・住民支え合いコーディネータースキルアップ講座(Web開催)
- ・地域共生社会推進セミナー(Web開催)

【ボランティア育成支援関係】

- ・協働型ボランティアセンター運営者養成研修
- ・オンライン情報交換会「今年はどうする！？福祉学習・ボランティア体験」(Web開催)

【児童福祉関係】

- ・放課後児童支援員認定資格研修
- ・放課後児童支援員資質向上研修

【援護関係】

- ・生活困窮者自立支援制度関係新任職員研修会 (Web開催)
- ・ひきこもり支援関係職員等向けセミナー (Web開催)
- ・生活困窮者自立相談支援機関情報交換会 (Web開催)

【生活福祉資金関係】

- ・生活福祉資金貸付事業・市町村社協事務局長会議

【介護事業関係】

- ・令和3年度桐生・みどり地区感染症予防対策動画研修会 (Web開催)

【地域包括支援センター】

- ・みどり市高齢者虐待対応・認知症高齢者支援ネットワーク推進会議 (書面)
- ・地域包括支援センター管理者会議
- ・地域包括支援センター全体会議
- ・みどり市地域ケア推進会議 (書面)
- ・みどり市地域包括支援センター運営会議 (書面)
- ・チームオレンジ情報交換会 (Web開催)
- ・群馬県認知症疾患医療センター研修会 (Web開催)
- ・介護予防支援従事者研修 (Web開催)
- ・介護・看護合同学習会 (動画配信)
- ・みどり市認知症初期集中支援チーム検討委員会 (書面)
- ・主任ケアマネ更新研修
- ・ケアマネ実務研修 (Web開催)
- ・もしバナゲームオンライン版体験会
- ・養護者による高齢者虐待現任研修 (Web開催)
- ・認知症サポーターキャラバンメイト養成講座
- ・在宅医療・介護連携センター運営会議 (Web開催)
- ・地域づくり人材養成研修 I・II (Web開催)
- ・令和3年度初任者研修
- ・ケアマネ講演会 (Web開催)
- ・第1回世代まちづくりシンポジウム地域包括ケアの深化 (Web開催)
- ・もしもの災害に備えてBCP作成初級編 (Web開催)
- ・令和3年度コミュニティソーシャルワーク研修
- ・災害対策と地域包括ケア研修
- ・認知症の人の意思決定支援ガイドライン研修会
- ・災害ボランティアセンター運営者養成研修

- ・ 令和3年度地域包括・在宅介護支援センター協議会現任者研修
- ・ アドバンスケアプランニング研修
- ・ リーガルサポート意思決定シンポジウム（Web開催）

【障害者福祉センター】

- ・ 令和3年度サービス管理責任者等基礎研修
- ・ 令和3年度相談支援従事者現任研修(Web開催)
- ・ 強度行動障害の理解のための研修(動画配信)
- ・ 令和3年度依存症回復支援者研修会
- ・ 群馬県福祉作業所連絡協議会研修
- ・ 発達障害相談支援サポーター連絡会議
- ・ 災害ボランティアセンター運営者養成研修
- ・ 障がいのある人を支援する防災研修会(Web開催)
- ・ 令和3年度みどり市障がいの理解促進・啓発事業講演会(動画配信)
- ・ 令和3年度桐生市・みどり市精神保健福祉講演会(動画配信)

6 広報・啓発・連絡調整及び発信方法等に関する研究

(1) 社協広報紙「みどり市社協だより」の発行

タイムリーな情報及び福祉情報を掲載し、写真・イラストを多く使うことで、市民にとって分かりやすく見やすい紙面づくりに努めた。

	発行日	発行部数
第 59 号	令和 3 年 7 月 5 日	19,300 部
第 60 号	〃 9 月 3 日	19,300 部
第 61 号	〃 12 月 3 日	19,300 部
第 62 号	令和 4 年 3 月 4 日	19,300 部

(2) ホームページによる情報発信

広報啓発として、ホームページを活用しタイムリーな情報発信に努めた。併せて、ホームページのリニューアルに向けて準備を進めた。

(3) 各施設における広報啓発活動の推進

児童の様子や活動紹介などの情報提供を行うことで、施設の理解を深め、円滑な運営につながるように努めた。

①親老児童館

「児童館だより」(月刊)の発行 全 12 回

②笠懸東学童クラブ

「学童クラブだより」(月刊)の発行 全 12 回

(4) 各種事業における周知・啓発

みどり市広報及び桐生タイムス等を活用して、市民向け講座の募集記事や各種事業案内等を実施した。

【市広報紙掲載】

- 令和3年5月号 手話体験教室 参加者募集記事
6月号 ①母子寡婦会 親子ふれあい交流事業（レクリエーション）
参加者募集記事
②手話体験教室 参加者募集記事
7月号 手話講習会（入門編） 参加者募集記事
9月号 ①母子寡婦会 秋のミニスポーツ大会 参加者募集記事
②若年ひとり親家庭等の集い（バス旅行）参加者募集記事
10月号 ①母子寡婦会 親子ふれあい交流事業（講習会）参加者募集記事
②歳末若年ひとり親家庭等日帰り旅行 参加者募集記事
③赤い羽根共同募金 協力依頼記事
11月号 歳末子育て支援品贈呈事業 申込募集記事
12月号 ①歳末たすけあい募金 協力依頼記事
②災害ボランティア養成講座受講者募集記事
令和4年1月号 ①日常生活自立支援事業生活支援員募集記事
②朗読ボランティア講座受講生募集記事
③高齢者ボッチャ体験講習会 参加者募集記事
2月号 ①母子寡婦会 若年ひとり親世帯との交流会（ボウリング大会）参加者
募集記事
②高齢者健康マージャン講座 参加者募集記事
3月号 赤い羽根・歳末募金実績報告・協力お礼記事

- | | |
|-------|---|
| ○毎号掲載 | 無料相談コーナー
・心配ごと相談
・法律相談（弁護士相談）
介護予防教室 |
|-------|---|

【その他】

- 桐生タイムス・日刊きりゅう・上毛新聞（シャトル）
①手話講習会（入門編） 受講者募集記事
②災害ボランティア講座 受講生募集記事

(5) その他

- ①機関紙「福祉ぐんま」（発行：群馬県社会福祉協議会）の配布
年4回（4月・8月・10月・2月）

7 会計経理等の正確かつ適正な運用

会計経理を複数人で確認することで正確かつ適正な運用に努めた。

8 財政基盤及び組織体制の強化

令和4年度から在宅福祉センターの新設及び介護事業所が統合となるため、職員間で調整会議・情報交換を行い、円滑に運営できるように努めた。

9 非常時に備えた事業継続計画策定に向けた研究

事業継続計画策定に向けて、他市町村の事例研修に参加した。みどり市で災害が発生した場合の被害想定並びに本会施設の事業運営への影響について研究し、令和4年度に事業継続計画を策定するための足掛かりとした。

10 地域福祉推進のための調査・研究

各種事業で参加者等を対象としたアンケートを実施し、事業の改善や住民ニーズの把握に努めた。把握した情報を今後の事業展開に役立てていく。

11 県内社会福祉協議会との連携

(1) 近隣社協との連携

桐生市社協と連携し、情報交換を行った。また、互いの広報紙に記事を掲載した。

■ 地域福祉事業

(成果)

- 1 日常生活自立支援事業の令和4年度からの基幹化に向けて桐生市社協（基幹社協）とともに利用者への移管の説明等を行い、連携して情報を共有することができた。
- 2 心配ごと相談員向けに初めて研修会を開催することで、多種多様な相談内容の業務に役立てることができた。

(課題)

- 1 様々な活動や事業を企画するが、新型コロナの影響で事業が停滞してしまっているため、生活にあった新たな取り組みを検討していく。

1 みどり市地域福祉活動計画に基づく地域福祉活動の実践

地域の実情や様々なニーズに応じて「みんなが輝く どんなときも支え合える理想のまち」を基本理念とし4つの基本目標を設定し事業を展開した。しかし、新型コロナの影響で事業の中止や縮小があり停滞してしまう事業もあれば、新たな取り組みとして実践した事業もあった。

2 日常生活自立支援事業

生活支援員並びに基幹社会福祉協議会（桐生市社協）と連携して、判断能力の不十分な高齢者や障がい者の在宅生活における福祉サービス利用や契約行為を支援した。また、令和4年度からの事業の自主運営に向けて基幹社協とともに利用者へ移管等を説明した。

事業についての問い合わせや相談件数が増加傾向にあるため、令和4年度から基幹社協として専門員同士が密に連携し、利用者への迅速な対応ができるよう努める。

地区	当年度末利用実人数		生活支援員総数	従事生活支援員数
笠懸	認知症高齢者	5名(±0)	32名(-14)	12名(±0)
	知的障がい者	7名(+2)		
	精神障がい者	5名(±0)		
大間々	認知症高齢者	0名(-2)	56名(+5)	5名(-2)
	知的障がい者	2名(+1)		
	精神障がい者	7名(+2)		
東	認知症高齢者	0名(-1)	5名(±0)	2名(±0)
	知的障がい者	1名(+1)		
	精神障がい者	3名(±0)		
合計		30名(+3)	93名(-9)	19名(-2)

3 群馬県ふくし総合相談支援事業への参画

県内の社会福祉法人施設や関係機関と連携・協働し、生活のしずらさを抱えた地域住民を包括的に支援し、地域における様々な地域課題及び生活課題に対応していくために、会議や研修会に参加した。今後も、連携強化を図っていきたい。

4 地域の福祉活動への支援

(1) 地域福祉活動推進事業

地域内において、住民参加により主体的に取り組む地域福祉活動の推進が図られることを目的に、行政区を単位に支援を図った。新型コロナの影響で活動が制限されるなか、感染防止対策の徹底をし、見守り活動や声掛け、各種スポーツ大会等を行う地区もみられた。他地区活動の紹介なども積極的に行い事業の支援につなげていきたい。また、各行政区での取り組みの情報共有や情報の提供などを行い、地域が活性化できるよう活動を支援していきたい。

実施地区	市内各行政区（全32区）
実施主体	行政区
協力機関	区長、民生委員、福祉部、婦人会、各種団体

5 各種福祉団体県大会等参加支援事業

参加者の安全確保と社会参加の促進を目的として、社会福祉団体が県大会等に参加するための貸切バスを借り上げて支援した。令和3年度も新型コロナの影響で事業中止が多く、申請は1件にとどまった。

支援先	支援件数
みどり市身障者連盟	1件(±0)

6 心配ごと相談事業

相談者の社会生活の支援と福祉の向上が図られるよう、住民のあらゆる心配ごとの相談に応じ、適切な助言指導を行った。

新たな取り組みとして心配ごと相談員向けに研修会を開催し、相談業務に役立てることができた。引き続き、市民が相談しやすい窓口対応と相談員の活動支援をしていく。

地 区	一般相談		弁護士相談	
	開設日数	相談件数	開設日数	相談件数
笠 懸	20 日 (+1)	65 件 (+8)	7 日 (-1)	34 件 (-8)
大間々	7 日 (+1)	10 件 (+8)	3 日 (-1)	19 件 (-5)
東	11 日 (+1)	3 件 (+2)	2 日 (±0)	9 件 (+7)
合 計	38 日 (+3)	78 件 (+18)	12 日 (-2)	62 件 (-6)

心配ごと相談員研修会（新規）

開催日	令和3年11月16日
会 場	みどり市立厚生会館
受講者数	35名
研修内容	基本的な相談援助技術/事例に基づくアドバイス手法

7 入れ歯リサイクル事業

地域福祉活動の財源確保と環境改善活動を推進することを目的に、福祉貢献事業として、使わなくなった入れ歯を回収した。リサイクル協会からの令和3年度の回収業務は行われなかったが、令和2年度の回収益金が令和3年度の4月に振り込まれたため、以下の回収益金となっている。今後も社協だより等で住民への周知を図りたい。

入れ歯回収個数	72 個 (+12)
宝飾品回収件数	0 件 (±0)
ユニセフ回収量	725 g (-229)
回収益金	43,869 円 (+43,869)

8 市民活動支援用具貸出事業

住民の交流活動を推進するため軽スポーツ用具のみでなく、イベントテントなどの市民活動支援用具の貸し出しも開始し、プロジェクター等の貸出実績もあった。

令和3年度も令和2年度と同様に新型コロナの影響で市内や団体の事業・行事が中止となり、貸出件数が大きく減少してしまったが、本事業を利用していただけのように、市民に対する周知方法を検討していく必要がある。

貸出先	貸出件数
社会福祉施設	12 件 (-3)
各種団体	2 件 (-9)

9 福祉体験用具等貸出事業

学校の総合学習等で活用できるよう福祉体験用具を市内の小中学校に貸し出した。また、視覚障がい者の歩行体験で使用する白杖が不足していたため、数量を補充した。

貸出先	貸出件数
小学校	7 件 (±0)
中学校	0 件 (±0)
その他	0 件 (±0)

10 社会を明るくする運動への協力

罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪や非行の防止と立ち直りを支える社会づくりを推進することを目的とした社会を明るくする運動の推進に協力した。

市民集会は新型コロナの影響で中止となったが、のぼり旗・ポスター掲示や市広報紙等による啓発活動に協力した。

主 催	みどり市社会を明るくする運動推進委員会
期 間	令和3年7月1日 ~ 7月31日 (強調月間)
内 容	のぼり旗・ポスターの掲示

11 区長会、民生委員児童委員協議会、福祉部との連携協力

区長会へ出席し、社協会費と共同募金及び歳末たすけあい募金の協力依頼を行った。今後も区長会と連携しニーズや社会情勢にあった方法で依頼していく。また、区長会、福祉部、民生委員等と連携しおせち配食などの活動を協力していただくなど、これからも、地域の福祉活動の向上のため努めていきたい。

12 各種福祉団体への活動支援

新型コロナの影響で中止した事業があったが、団体役員をはじめ会員と協力し、健康と安全に配慮して可能な限り事業を実施した。

多くの団体が会員の減少・高齢化、役員の担い手不足が課題になっているため、新規会員を獲得していけるように積極的に支援していきたい。

■ ボランティア育成支援事業

(成果)

- 1 大間々高校・桐生大学の学生を対象としたボランティア講座を企画することで教育機関とのつながりができ、災害時に備えて平時からの連携構築を図る契機となった。
- 2 災害ボランティア講座の企画において災害現場の第一線で活躍する一般社団法人ピースボートに講師を依頼し、連携のきっかけを作ることができた。

(課題)

- 1 講座を企画するにあたり、関係機関との連携をとることができたが、新型コロナの影響で中止となった。コロナ禍でも実施できるよう事業を検討する必要がある。
- 2 新型コロナの影響でボランティア活動の場が減り、ボランティア登録者・団体が減少傾向にある。

1 善意銀行

市民から寄せられる善意に基づく金銭や物品の受け入れ並びに活用のための払い出し業務を実施した。新型コロナで経済活動が停滞した影響もあり、寄附金については減少傾向にある。

現金	預託金額	403,237 円 (-221,742)
	預託件数	24 件 (±0)
物品	預託件数	22 件 (-1)
リサイクル品	使用済切手、使用済テレホンカード、プルトップ、ペットボトルキャップなどを随時受け付けた。	

2 ボランティアセンター

ボランティア活動を希望する人とボランティアを求めている個人・団体・施設・機関等との調整並びに橋渡しをしているが、令和2年度同様、感染拡大防止の観点から施設等が外部から人を受け入れない状況やボランティアニーズがない状況であったため、コーディネートが困難であった。

コロナ禍における実態把握のため、市内福祉関係施設へのボランティア受け入れアンケート調査を実施し、調査結果から感染防止対策を徹底することによって受け入れできる施設もあることがわかった。

内容	件数
ボランティア登録者	3名 (-2)
ボランティア登録者団体	20団体 (-3)
コーディネート	1件 (+1)

市内福祉関係施設へのボランティア受け入れアンケート調査結果

施設	回答件数	回収率
高齢者福祉施設	17 / 28 施設	60.71 %
障がい者福祉施設	13 / 15 施設	86.66 %
児童福祉施設	16 / 19 施設	84.21 %
合計	46 / 62 施設	74.19 %

3 災害ボランティアセンター

全国各地で災害が頻発しているため、東地区での土砂災害被害を想定し災害に備えた備蓄用品等を揃えた。

4 ボランティア養成講座

平時からの教育機関との連携構築と、学生たちがボランティア活動を始めるきっかけづくりを目的とした講座を企画した。また、災害ボランティアの育成を目的とした一般市民向けの災害ボランティア養成講座を企画したが、いずれも新型コロナの影響で中止となった。

(1) 『災害が起きたらどうする！？』 県立大間々高等学校・桐生大学連携講座

開催期日	①令和3年8月 5日(中止) ②令和3年8月17日(中止) ③令和3年8月25日(中止)
会場	①みどり市立厚生会館 ②栃木県防災館 ③みどり市立厚生会館
受講者数	0名(±0)

(2) 災害ボランティア養成講座

開催期日	令和4年1月22日(中止)
会場	みどり市立厚生会館
受講者数	0名(±0)

5 ボランティア活動保険等の取り扱い

ボランティア活動の推進を図るため、ボランティア活動中の不慮の事故や賠償責任等に備えた保険制度の取扱事務を行った。新型コロナの影響でボランティア活動保険の加入取扱件数は減少したが、ボランティア行事用保険は加入取扱に加えて行事の中止に伴うキャンセルの取扱が増え、件数が増加した。

取り扱い内容	受付件数(追加・変更含む)	事故件数
ボランティア活動保険	27件(-4)	0件(±0)
ボランティア行事用保険	46件(+24)	0件(±0)
福祉サービス総合補償	12件(-2)	0件(-1)

6 ボランティア団体等活動支援

ボランティア連絡協議会や災害ボランティアの会をはじめ、ボランティア活動団体の運営及び活動の支援を行ったが、新型コロナの影響で規模縮小や中止となる事業が多かった。今後も各団体が活発に活動できるよう、感染防止対策を徹底しながら活動を支援していきたい。

■ 在宅福祉事業

(成果)

- 1 コロナ禍にありながらも可能な範囲でサービス提供を行い、利用者が必要とするサービスを提供することができた。また、事業休止期間を利用して、周知啓発活動や体制整備等を行うことができた。

(課題)

- 1 新型コロナの影響で年間を通して通常どおりの事業を実施することができなかった。特に安心支援事業では、活動は再開できたものの、利用ニーズの高い「付添支援」による医療機関への通院同行が実施できない状況になっているため課題となっている。

1 安心支援事業【受託事業】

市内の65歳以上の在宅高齢者を対象に、地域で安心して生活できることを目的に日常生活でのちょっとした困りごとのお手伝いとして有償ボランティア(サポーター)の活動支援(仲介等)を行った。新型コロナの影響で事業休止期間が長かったことから、利用者(新規含む)並びにサポーター登録者数は微増だった。休止期間中は事業再開に向けて支援内容の見直し、チラシのリニューアル、サポーター研修を実施した。今後も必要な方へ周知・啓発していきたい。

地区	利用登録者数 (累計)	サポーター登録者数	年間コーディネート数
笠懸	73名(+5)	37名(±0)	11組(-1)
大間々	65名(+4)	37名(+5)	
東	8名(+2)	4名(±0)	
合計	146名(+11)	78名(+5)	

2 在宅高齢者支援機関運営事業【受託事業】

在宅高齢者の生活を支援するため、サービスの調整や実態把握を通じて高齢者やその介護者などに対し、総合的な相談に応じ、各種サービスの利用や連絡調整等の支援を行った。コロナ禍において高齢者の身体機能の低下・引きこもり等の状況を把握するため、訪問活動を強化した。行政区役員・地域住民・関係機関等との連携を図り、情報の共有化により実態把握調査の強化と高齢者の在宅生活がより充実したものになるよう支援したい。

地 区	延相談件数	実態把握調査件数
笠 懸	1,168 件 (-271)	181 件 (-61)
大間々	672 件 (-39)	207 件 (-12)
東	458 件 (-64)	85 件 (-2)
合 計	2,298 件 (-374)	473 件 (-75)

3 配食サービス【受託事業】

在宅における独居高齢者または高齢夫婦世帯を対象に、食生活の改善や見守り支援を目的として配食サービスを行った。前年度との比較では、施設入所等による廃止もあったが、同数の新規利用者があったため、実利用者数に増減は無かった。また利用を週1回から2回に増やした利用者もいたため、延配食数は増加となった。今後も必要な方への周知・啓発をしていきたい。

地区	配食日	実利用者数	実施回数	延配食数
笠懸	月・木曜日	16 名 (+1)	105 回 (+1)	753 食 (-167)
大間々	月・木曜日	20 名 (+2)	105 回 (+1)	1,108 食 (+167)
東	火・金曜日	14 名 (-3)	99 回 (+2)	928 食 (+322)
合計		50 名 (±0)	309 回 (+4)	2,789 食 (+322)

4 訪問理容サービス事業【受託事業】

在宅で生活している寝たきり高齢者に対し、衛生的に快適な生活を維持する目的で市内理容店の協力を得て理容サービス(頭髪カット)を実施した。コロナ禍での事業となり対象者や家族が感染リスクを懸念されたためか、前年度に続きサービス利用の減少となった。今後も理容店の協力を得ながら、寝たきり高齢者の理容衛生保持のための支援に努めたい。また、協力理容店も減少傾向である状況を課題として関係機関と連携を図りたい。

理容サービス券交付者数	理容サービス券支給枚数
24 名 (-5)	90 枚 (-20)
理容サービス券実使用者数	理容サービス券実使用枚数
13 名 (-4)	36 枚 (-13)

5 福祉車両貸出事業

(1) 在宅生活支援

在宅で生活に支障があり、介護(一時的な傷病も含む等)で必要とする地域住民(高齢者、障がい者、子ども)に対して車椅子のまま乗車可能な専用車両を貸し出した。新型コロナウイルスの影響で利用者数は前年度より減少した。今後も、地域住民へ事業を周知・啓発していきたい。

地 区	延利用者数	延貸出日数
笠 懸	51 名 (-8)	68 日 (-1)
大間々	24 名 (-6)	34 日 (-1)
東	2 名 (±0)	4 日 (+2)
合 計	77 名 (-14)	106 日 (±0)

(2) 安心支援

サポーターによる付き添い支援のため、専用車両を貸し出した。新型コロナの影響で、事業の休止期間が長期となったことから、利用者・貸出日数ともに減少した。事業再開後、引き続き車両を適正に管理した。

地 区	延利用者数	延貸出日数
笠 懸	10 名 (+1)	10 日 (+1)
大間々	17 名 (-34)	17 日 (-34)
合 計	27 名 (-33)	27 日 (-33)

6 日常生活用具貸出事業

在宅の重度障がい児・者や寝たきり高齢者及び怪我等で生活に支障がある人を対象に、家族等の介護負担軽減や在宅生活の自立支援を図ることを目的として介護用ベッドや車椅子を貸し出した。ただし、介護保険の福祉用具レンタルサービスを優先利用としているため、介護ベッド貸し出しの利用は少ない。車椅子貸し出しは、通院目的の短期(1週間以内)貸出利用が主となっている。今後も制度による給付や貸与が適用とならない状況等の人の在宅生活支援として貸し出す。また、感染予防対策として貸出時及び返却時には用具の消毒処理を行い衛生な貸出事業に努めたい。

貸出品	地区			貸出合計件数
	笠懸	大間々	東	
ギャジズベッド	0 件 (±0)	0 件 (±0)	0 件 (±0)	0 件 (±0)
電動ベッド	1 件 (-1)	0 件 (±0)	0 件 (±0)	1 件 (-1)
車椅子	11 件 (-1)	18 件 (+9)	4 件 (-4)	33 件 (+4)

7 家族介護者交流事業【受託事業】

在宅で高齢者等を介護する介護者に対し、日々の介護疲れを癒し介護の知識や技術を深めるための相談や適切な助言指導を行った。第一回目は当初予定が新型コロナ警戒度「3」のため中止となったが、警戒度引き下げのタイミングで日程・会場を変更し実施した。第二回目も募集人数を従前の半数にするなど感染防止対策を講じ実施。今後も状況変化に対応しつつ参加者相互の親睦・情報交換やリフレッシュにより、新たな気持ちで介護に取り組めるよう支援し参加者のニーズに沿った活動を目指したい。

実施日	会場	参加者数
令和3年7月14日	みどり市多世代交流館	4 名 (-13)
令和4年1月18日	みどり市多世代交流館	9 名 (+9)

8 思いやり駐車場利用証制度への協力

障がい者用駐車場の適正利用のため、対象となる申請者へ利用証の交付事務等を行った。申請件数は対象により差が出ているが、今後も必要な方へ周知・啓発していきたい。

区分	地区			合計
	笠懸	大間々	東	
身体障がい者	0名(±0)	1名(+1)	1名(±0)	2名(+1)
知的障がい者	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)
精神障がい者	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)
高齢者	3名(+1)	0名(-3)	1名(-2)	4名(-4)
難病患者	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)	0名(±0)
妊産婦	6名(+2)	1名(±0)	0名(±0)	7名(+2)
合計	9名(+3)	2名(-2)	2名(-2)	13名(-1)

■ 高齢者福祉事業 (成果)

- 1 高齢化の進行に加え、新型コロナの長期化により、高齢者を取り巻く環境が変化する状況下においても、適宜、必要な支援を実施できた。例えば、介護予防教室（サロン）は中止となったが、その代わりに高齢者の身体状況確認を目的に参加者宅への訪問等行い、声掛け・状況把握に努めたことで、結果的にはアウトリーチによる実態把握の強化につながった。

(課題)

- 1 新型コロナの長期化により、これまで表立っていなかった問題等（高齢者の同居家族の閉じこもりや精神的な問題等）が顕在化してきている。今後は、みどり市の重層的支援体制整備事業に基づき、市の各部署と連携強化する必要がある。
- 2 若い世代の加入減少により、老人クラブ連合会の会員数が年々減少している。
- 3 敬老旅行は参加者数が減少傾向にあるため、高齢者のニーズを的確に捉え、コロナ禍においても安全に実施できる方法を模索する必要がある。

1 地域包括支援センター事業【受託事業】

高齢化の進行に加え、新型コロナの長期化により、高齢者を取り巻く環境が変化する中、高齢者が住み慣れた地域で、安心して自立した日常生活を営むことができるよう、総合相談支援業務、権利擁護業務（認知症高齢者支援、高齢者虐待対応、成年後見制度申立て支援等）、包括的・継続的ケアマネジメント業務（関係機関との連携体制構築支援、介護支援専門員等のサポート、支援困難ケースへの支援、地域ケア会議の活用等含む）等、適宜、必要な援助及び支援を実施した。

また、関係機関・団体等と共に、在宅医療と介護連携の推進、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業等への連携・協力を行った。

指定介護予防支援事業や介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）に関しては、関係法令やみどり市の方針に基づき、利用対象者に対して適切にサービス提供するとともに、その業務の一部を適切に指定居宅介護支援事業所に委託した。

(1) 介護予防支援業務実績数（一部委託を含む）

	延実績数	金額
笠懸	2,204 件 (-105)	9,880,920 円 (-277,870)
大間々	2,128 件 (+176)	9,805,120 円 (+1,194,000)
東	335 件 (+23)	1,522,900 円 (+139,180)
合計	4,667 件 (+94)	21,208,940 円 (+1,055,310)

(2) 相談方法

	笠懸	大間々	東	計
来所	169 件 (-14)	191 件 (-23)	135 件 (-25)	495 件 (-62)
訪問	663 件 (+46)	410 件 (+5)	117 件 (-95)	1,190 件 (-44)
電話	1,911 件 (+14)	1,250 件 (-167)	337 件 (-104)	3,498 件 (-257)
その他	9 件 (-3)	65 件 (-25)	146 件 (-45)	220 件 (-73)
合計	2,752 件 (+43)	1,916 件 (-210)	735 件 (-269)	5,403 件 (-436)

(3) 相談内容

	笠懸	大間々	東	計
介護保険サービス関係	1,358 件 (-21)	1,161 件 (+42)	396 件 (-261)	2,915 件 (-240)
高齢者福祉サービス関係	87 件 (+21)	67 件 (+10)	46 件 (-4)	200 件 (+27)
医療関係	231 件 (-5)	136 件 (-60)	93 件 (+10)	460 件 (-55)
認知症関係	471 件 (+74)	106 件 (+21)	14 件 (-22)	591 件 (+73)
成年後見	8 件 (-36)	30 件 (+12)	0 件 (±0)	38 件 (-24)
措置	37 件 (+37)	1 件 (-22)	0 件 (±0)	38 件 (+15)
日常生活自立支援	11 件 (+11)	7 件 (+1)	0 件 (±0)	18 件 (+12)
高齢者虐待	16 件 (-50)	33 件 (-8)	3 件 (+3)	52 件 (-55)
困難事例	111 件 (-51)	21 件 (+1)	25 件 (-25)	157 件 (-75)
消費者被害	1 件 (-2)	18 件 (+10)	0 件 (±0)	19 件 (+8)
その他	421 件 (+65)	336 件 (-217)	158 件 (+30)	915 件 (-122)
合計(延)	2,752 件 (+43)	1,916 件 (-210)	735 件 (-269)	5,403 件 (-436)

2 生活支援体制整備事業【受託事業】

前年度同様、新型コロナの影響で活動が停滞した。また近隣の市町村社協との情報等を参考に、各地区第2層協議体の再開に向けて検討を進めて会議実施を計画したが全域で中止となった。今後はコロナ禍においても、どのように活動すべきか検討しつつ、事業を進めていきたい。

(1) 第2層協議体活動経過

① 笠懸地区 会場：みどり市社協 本所

回数	期日	出席人数	主な検討テーマ
中止	令和4年1月27日	-	-

② 大間々地区 会場：みどり市社協 大間々支所

回数	期日	出席人数	主な検討テーマ
中止	令和4年1月26日	-	-

③ 東地区 会場：みどり市社協 東支所

回数	期日	出席人数	主な検討テーマ
中止	令和4年1月24日	-	-

(2) 第1層協議体活動経過

・実施なし

3 介護予防普及啓発事業【受託事業】

地域で暮らす高齢者が生涯を通じて自立した暮らしを送ることができるよう、要支援・要介護にならないために自己啓発に繋がる効果的な予防活動に取り組んだ。新型コロナの影響でサロンが中止となった時は、高齢者の身体状況を確認するため参加者宅へ訪問し、声掛け・状況把握に努めた。広報紙掲載・行政区役員・民生委員等との連携強化で参加者増加を目指し、参加者の心身の健康促進につなげたい。

地 区	実施回数	延参加者数
笠 懸	22 回 (+22)	225 名 (+225)
大間々	22 回 (+22)	224 名 (+224)
東	20 回 (+20)	115 名 (+115)
合 計	64 回 (+64)	564 名 (+564)

4 敬老旅行事業【受託事業】

新型コロナの影響で事業を企画前に中止決定した。

群馬県の社会経済活動再開に向けたガイドラインに則りみどり市・市老人クラブ連合会の意向を踏まえ実施方法の見直しを図る必要がある。

実施期間	中止
実施方面	
宿泊場所	
参加者総数	0 名 (±0)

5 敬老行事地区事業

地域住民が高齢者とのふれあいを通じ、地域における高齢者の見守りネットワークづくり推進や地域組織化を目的に活動を支援した。引き続き必要に応じて情報提供や活動支援を行っていききたい。

対象者	概ね80歳以上の高齢者
補助対象者数	4,337 名 (+161)
実施地区	市内各行政区 (全32区)
実施主体	行政区
協力機関	民生委員、福祉部、婦人会、各種団体等

6 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業【受託事業】

新型コロナの影響で市内の会場が閉館となり中止となる事業が多かった。その中で市老人クラブ連合会のスポーツ大会や茶話会は新型コロナの警戒度に合わせ開催することができた。今後は感染防止対策を徹底し、状況によっては開催方法等を検討していく必要がある。

(1) みどり市老人クラブ連合会 各種スポーツ大会

種目	実施期日	会場	参加者数
グラウンドゴルフ大会	令和3年7月29日	東運動公園	119名(+119)
ゲートボール大会	中止		0名(±0)
スマイルボウリング大会	令和3年7月20日	桐生大学グリーンアリーナ	69名(+69)
輪投げ大会	令和3年11月12日	東社会体育館	76名(+76)
新卓球大会	中止		0名(-45)

(2) 笠懸老人憩の家

実施内容	実施回数	参加者数
カラオケ大会	中止 (±0)	延 0名(±0)
教養講座	中止 (±0)	0名(±0)
高齢者談話室(茶話会)	2回(+2)	延 30名(+30)

(3) 老人福祉センター

実施内容	実施回数	参加者数
バンパープール大会	中止 (±0)	0名(±0)
健康マージャン大会	中止 (±0)	延 0名(±0)
将棋大会	中止 (±0)	0名(±0)
まごころ♪のど自慢	中止 (±0)	延 0名(±0)
ビニールバンド講座	中止 (±0)	延 0名(±0)
健康マージャン講座	中止 (±0)	延 0名(±0)
新卓球講座	中止 (±0)	延 0名(±0)
アートフラワー講座	中止 (±0)	延 0名(±0)
ソープカービング講座	中止 (±0)	延 0名(±0)
絵手紙講座	中止 (±0)	延 0名(±0)
ラージボール講座	中止 (±0)	延 0名(±0)

(4) 大間々老人憩の家

実施内容	実施回数	参加者数
茶話会	中止 (±0)	0名(±0)
カラオケ大会	中止 (±0)	延 0名(±0)

7 ひとり暮らし高齢者交流事業【受託事業】

会食を伴う交流事業のため感染拡大防止の観点から実施を取りやめた。

実施日	中止
会場	
参加者数	0名(±0)

8 高齢者の健康増進・介護予防活動

高齢者の健康増進や介護予防活動の推進を目的に新たな事業を企画したが、新型コロナウイルスの影響で中止となった。

事業	実施期日	会場	申込者数	備考
ボッチャ体験教室	令和4年2月21日	みどり市多世代交流館	10名	中止
健康マージャン講座	令和4年3月14日, 16日	みどり市多世代交流館	11名	中止

■ 障がい者福祉事業

(成果)

- 1 感染防止対策を徹底しながら朗読奉仕員養成講座を実施することができた。
- 2 視覚障がい者等録音テープ貸出事業においてボランティアによる録音活動は引き続き休止したが、他市の活動状況や活動方法、利用者の情報収集ができた。

(課題)

- 1 朗読ボランティアの活動が休止の状況であるため、視覚障がい者への録音テープによる市広報紙掲載内容の情報発信が止まってしまっている。
- 2 新型コロナによる笠懸公民館利用者の減少や会食自粛の風潮等により、笠懸公民館の喫茶ぺちやくちやの利用者が激減しており経営状況が著しく悪化している。

1 障害者福祉センターの運営

(1) 地域活動支援センター【受託事業】

利用者が地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、創作的活動及び生産活動の機会を提供するとともに地域との交流を図った。

(2) 障害者デイサービスセンター【受託事業】

重度心身障がい者の通所の場として、養護、生活支援、日常動作訓練、食事、送迎、入浴サービスを行い、地域生活を支援するとともに、介護を行う家族の負担軽減を図った。

(3) 相談支援事業所【一部受託事業】

障がい児・者の基本的な相談に応じるとともに、サービス等利用計画作成のための相談、障害支援区分認定調査業務などを行った。

2 障害者意思疎通支援事業（手話言語普及推進事業）【受託事業】

障がいによりコミュニケーションに支障のある人に、意思疎通の円滑化と日常生活の便宜を図ることを目的に、手話通訳者派遣の調整を実施した。

派遣内容	派遣人数	利用者数	
		団体	個人
手話通訳者派遣	212名 (-2)	3団体 (+1)	8名 (+1)
要約筆記者派遣	0名 (±0)	0団体 (±0)	0名 (±0)

3 障害者意思疎通支援奉仕員養成講座【受託事業】

手話講習会の入門編は受講者を募集したが、新型コロナの影響で開講前に中止とした。基礎編も同様に途中で中止とした。ステップアップ講座は入門編の修了者を対象とするため、開催することができなかった。

朗読奉仕員養成講座は、視覚障がい者等に広報紙等の情報を声で伝える奉仕員の養成を目的に感染防止対策を徹底したうえで実施することができた。

(1) 手話講習会 入門編

開催期間	令和3年8月4日～令和4年1月19日（開講前に中止決定） 毎週水曜日 全21回
会場	みどり市社協 本所
受講者数	0名（±0）
修了者数	0名（±0）

(2) 手話講習会 基礎編

開催期間	令和3年7月7日～令和4年2月16日 （4月7日～7月28日まで開催し、以降は中止） 毎週水曜日 全29回
会場	みどり市社協 本所
受講者数	7名（+7）
修了者数	0名（修了要件を満たす回数を開催できなかったため）

(3) 手話講習会 ステップアップ講座

開催期間	中止
会場	
受講者数	0名（±0）
修了者数	0名（±0）

(4) 手話講習会 体験教室

開催日	令和3年6月23日
会場	みどり市社協 本所
参加者数	12名（+12）

(5) 朗読奉仕員養成講座

開催期間	令和4年2月2日～3月9日 毎週水曜日（全5回）
会場	みどり市立厚生会館
受講者数	5名（+5）
修了者数	5名（+5）

4 心身障害者療育訓練事業【受託事業】

新型コロナの影響でみどり市や協力団体であるみどり市手をつなぐ育成会と協議し、企画前に中止を決定した。

実施日	中止
実施場所	
参加者数	0世帯 0名（±0）

5 視覚障がい者等録音テープ貸出事業

ボランティアによる録音活動が休止しているため貸し出しも休止したが、他市の活動状況や活動方法の情報収集、自宅訪問による市内のテープ貸出利用者の再生機材の確認等を行うことができた。また、桐生市点字図書館を訪問し最新の録音機材購入に向けて情報収集することができた。朗読ボランティア活動再開後、新たな録音機材導入による活動を検討できるよう支援していきたい。

実利用者数	貸出の内容	
0名 (±0)	みどり市広報	0回
	みどり市議会だより	0回
	みどり市社協だより	0回

6 福祉パレードへの協力

新型コロナの影響で桐生・みどり地区の式典は中止となった。

パレード実施期日	令和3年9月7日
参加団体・機関等	中止

7 障がい者喫茶室「ぺちやくちゃ」の運営支援

障がい者が笠懸公民館内に設置している喫茶コーナーを運営することで、地域交流とふれあい活動の推進が図れるよう支援した。新型コロナの警戒度等に合わせて一時臨時休業とした。その中で、令和3年度運営委員会を開催し、コロナ禍における今後の運営について協議した。

運営委員との連携を図りながら障がい者が活躍できる環境づくりを行っていききたい。

開店日	毎週火曜日～土曜日
年間運営日数	66日 (-61)
従事者	火・木曜日＝みどり市地域活動支援センター 水・金・土曜日＝みどり市身障者連盟
喫茶売上総額	139,500円 (-154,050)

■ 児童福祉・福祉教育事業

(成果)

- 市内の中学校の道徳活動の時間に福祉教育の講義を実施し、生徒に身近な福祉について考えてもらうことができた。
- 担当職員が全国福祉教育推進員研修に参加し、福祉教育推進員の資格を取得した。

(課題)

- 福祉教育推進活動事業において市内小中学校からの指定申請件数が減少しているため、申請に至らなかった要因の把握と啓発を強化する必要がある。

1 児童健全育成活動

親老児童館・笠懸東学童クラブを拠点に、児童健全育成活動及び世代間交流活動を年間を通じて実施した。

児童同士の関わりや児童の安全に配慮し、感染防止対策を行いながら活動した。

2 地域子育てサロン【受託事業】

子育てをしている保護者同士のふれあいと仲間づくり、情報交換の場(サロン)を開設し、孤立しがちな子育て家庭の不安の解消と連帯感を育んだ。新型コロナの警戒度に応じて休止した期間があるため、実施日数が少なかった。

実施日数	92日(+21) (月～金曜日。ただし、祝日及び小学校長期休業期間を除く。)
実施時間	午前10時から正午まで
実施場所	みどり市第1親老児童館
年間利用者	保護者 4名(±0)
	子ども 4名(±0)

3 児童福祉週間の啓発協力

児童福祉週間(5/5～5/11)の啓発ポスターの掲示と啓発協力を行った。

4 学童・生徒の福祉教育推進活動

福祉教育活動や福祉体験活動の普及を目指し、市内の小中学校からの申請に基づき、活動費を助成し、各校の特色にあった福祉教育活動の支援を行った。また、中学校の道徳の時間に福祉教育として、身近な福祉を考える講義を実施した。

実施内容	小学校	中学校
補助事業指定	6校(-1)	3校(-2)
福祉教育の支援	0校(±0)	1校(+1)

■ 母子寡婦福祉事業

(成果)

- 1 若年ひとり親世帯を集めた企画会議を開催できなかったが、事業実施後のアンケートなどで参加者の意見を聞くことができた。

(課題)

- 1 新型コロナの影響で母子寡婦会の諸事業が実施できず、若年世代の加入促進が図れなかったため、会員の世代交代が進んでいない。

1 若年ひとり親家庭の組織化活動支援

新型コロナの影響で若年世帯を集めた会議などを中止した。

年間活動日数	中止
延参加者数	保護者 0名(±0)
	児童等 0名(±0)

2 若年ひとり親家庭の集いの実施

市内のひとり親世帯同士の交流を目的に日帰りバス旅行を実施したが、バーベキュー交流会は昨年度に引き続き新型コロナの影響で中止となった。

(1) 若年ひとり親家庭の集い

実施日	内容	参加者数
令和3年10月23日	那須サファリパーク・那須ハイランドパーク	12世帯 26名(-2)

■ 援護事業

(成果)

- 1 法外援護の申請件数は少なかったが、物品を支給し困窮世帯を支援することができた。

(課題)

- 1 法外援護支給世帯に対する支援後の状況把握ができていない。

1 生活困窮者自立支援事業【受託事業】

生活困窮世帯が困窮状態から早期に脱却し、地域において自立した生活を営むことができるよう支援するため、関係機関との連携等により本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施した。また、離職等により経済的に困窮し、住居を喪失するおそれのある方に対しては住居及び就労機会の確保に向け、家賃相当額の金額を給付する住居確保給付金の申請受付事務を行った。

(1) 新規相談件数・支援件数・プラン作成件数

内容	件数
新規相談	84 件 (-65)
支援申込	3 件 (-21)
プラン作成※	5 件 (+5)

※再プランを含む。

(2) 住居確保給付金

申請種別	申請受付件数	決定件数
新規申請	3 件 (-20)	3 件 (-19)
延長申請	2 件 (±0)	2 件 (±0)
再延長申請	0 件 (±0)	0 件 (±0)
再申請	0 件 (-2)	0 件 (-2)

2 法外援護費支給事業

法令の適用が困難で、緊急的かつ一時的な福祉的援護を必要とする世帯に対し、物品を支給することで生計維持や生活再建を支援した。

(1) 資金

支給世帯数	支給総額
0 世帯 (-3)	0 円 (-99,000)

(2) 物品

支給世帯数	支給数
1 世帯 (-2)	食料品 2 個 (-9)

3 行路人貸付事業

行路病者に対して住所地に向かうための最低限の援護資金を貸し付ける体制を執った。支援実績はなかったが、今後も適切な支援を行っていく。

年間貸付件数	貸付総額
0 件 (±0)	0 円 (±0)

4 交通遺児就学援助金給付事業

交通事故による遺児に対して、就学の援助と社会的人材育成の支援を目的に学資の一部を給付する体制を執ったが、実績はなかった。

給付件数	給付金額
0 件 (±0)	0 円 (±0)

5 戦没者遺族援護事業【受託事業】

新型コロナの影響で群馬県戦没者追悼式は中止、戦没者遺族の連携と相互交流を図ることを目的とした事業も中止となった。高齢化する遺族の状況に配慮した事業を進めていきたい。

実施日	場所	参加者数
中止	東京方面	0 名 (±0)
令和3年8月15日 (中止)	前橋市	0 名 (±0)
令和3年10月16日 (中止)	高崎市方面	0 名 (-3)

6 戦没者追悼式への協力

感染拡大防止の観点から、群馬県戦没者追悼式はライブ配信のみでの実施となり、みどり市戦没者追悼式は中止となった。

(1) 群馬県戦没者追悼式

令和3年8月15日 (ライブ配信)

(2) みどり市戦没者追悼式

中止

■ 福祉資金貸付事業

(成果)

- 1 新型コロナが長期化している中で、失業者や収入が減少している世帯に対する特例貸付の申請を受け付けるとともに、面談により貸付以外にも支援策を対象者へ提示することができた。
- 2 生活困窮者自立相談支援機関と連携して小口生活資金債務者の自宅訪問を行い、実態把握や償還指導ができた。

(課題)

- 1 新型コロナ特例貸付の際に面談を実施しているが、新型コロナだけではなく様々な要因で困窮に陥いる世帯も多く、資金の貸付だけでは解決しない世帯もあった。
- 2 貸付時の面談のみでの状況確認となっており、貸付後の支援が十分にできていない。

1 小口生活資金貸付事業

一時的に困窮する低所得世帯に対し経済的自立と生活意欲の促進を図り、世帯更生に寄与することを目的に貸付事業を行う体制を執ったが、実績はなかった。

内容	件数と金額
相談	0 件 (±0)
申請	0 件 (±0)
年度当初の債権	7 件 240,000 円 (-25,000)
当年度の新たな債権	0 件 0 円 (±0)
一部償還された債権	3 件 15,000 円 (-10,000)
償還が完了した債権	0 件 0 円 (±0)
償還を免除した債権	0 件 0 円 (±0)
年度末の債権	7 件 225,000 円 (-15,000)

2 生活福祉資金貸付事業への協力【県社協受託】

群馬県社会福祉協議会が実施する各種資金の貸付に関する業務を行った。新型コロナ特例貸付に関しては、件数自体は減少傾向にあるものの、依然として需要が高い。また、令和2年度に引き続きコロナ禍の生活困窮者世帯が浮き彫りになっているため、今後も生活困窮者自立相談支援機関と連携して、対象者に対して適切な支援策を提示できるように努める。

(1) 各種貸付事業全体

相談件数	申請に至った件数	決定件数
282 件 (-239)	273 件 (-224)	253 件 (-238)

(2) 生活福祉資金（特例貸付以外）

資金種類	申請件数	決定件数	貸付決定額
総合支援資金	0 件 (±0)	0 件 (±0)	0 円 (±0)
福祉資金	0 件 (±0)	0 件 (±0)	0 円 (±0)
教育支援資金	0 件 (±0)	0 件 (±0)	0 円 (±0)
不動産担保型生活資金	0 件 (±0)	0 件 (±0)	0 円 (±0)
臨時特例つなぎ資金	0 件 (±0)	0 件 (±0)	0 円 (±0)
緊急小口資金	3 件 (-4)	2 件 (-5)	136,000 円 (-340,000)

(3) 生活福祉資金（特例貸付）

資金種類	申請件数	決定件数	貸付決定額
緊急小口資金	131 件 (-239)	122 件 (-245)	22,400,000 円 (-42,790,000)
総合支援資金	70 件 (-17)	64 件 (-21)	34,250,000 円 (-10,750,000)
総合支援資金 延長	25 件 (+3)	25 件 (+3)	13,050,000 円 (+1,350,000)
総合支援資金 再貸付	43 件 (+38)	40 件 (+36)	21,600,000 円 (+19,650,000)

■ 共同募金事業

(成果)

- 1 歳末たすけあい募金配分事業で若年ひとり親家庭等を対象としたクリスマスケーキ作りに代わり、新規事業で市内の児童扶養手当・特別児童扶養手当受給者で申請のあった世帯に対し、子育て支援品を贈呈した。

(課題)

- 1 一般募金及び地域歳末たすけあい募金の配分事業についてコロナ禍でも実施できる事業内容を検討する必要がある。

1 赤い羽根一般募金配分事業

新型コロナの影響で実施できなかった事業もあったが、赤い羽根一般募金配分金及び前年度地域歳末たすけあい募金再配分金を地域福祉事業に活用した。また、近年災害が頻発していることもあり、令和2年度から繰り越した配分金を活用し災害体制整備等に重点的に充てることができた。

今後も共同募金会みどり市支会と連携しながら各種福祉事業を実施するための財源確保に努め、地域のニーズに沿った事業を実施できるよう精査していきたい。

配分内容	配分金額
老人福祉活動費	80,000 円 (+80,000)
障がい児・者福祉活動費	371,499 円 (+353,199)
母子・父子福祉活動費	426,653 円 (+279,574)
福祉育成・援助活動費	280,000 円 (+23,150)
ボランティア活動育成事業費	450,000 円 (+291,270)
広報・啓発活動費	737,000 円 (+737,000)

2 地域歳末たすけあい募金配分事業

地域歳末たすけあい募金配分金を、歳末に実施する各種事業に活用した。新型コロナが長期化し、収入減少世帯や失業者が増えている中で、影響が大きいと思われる母子父子世帯や障がい児世帯に対し支援することを目的とした子育て支援品贈呈事業を実施した。

今後も共同募金会みどり市支会と連携しながら各種福祉事業を実施するための財源確保に努め、地域のニーズに沿った事業を実施できるよう精査していきたい。

配分内容	配分対象	配分金額
障がい児・者施設歳末行事助成事業	30ヶ所 (±0)	598,760 円 (+800)
独居高齢者世帯等おせち料理配付事業	322 世帯 (+50)	952,122 円 (+56,887)
独居高齢者世帯福祉カレンダー配付事業	1,850 世帯 (+450)	102,680 円 (+5,220)
若年ひとり親家庭等日帰り旅行	10 世帯 (+10)	185,250 円 (+182,940)
子育て支援品贈呈事業	38 名 (+38)	204,894 円 (+204,894)
児童福祉施設等歳末行事助成事業	24ヶ所 (±0)	810,710 円 (-24,770)
次年度の福祉サービス事業配分費	—	220,840 円 (-669,153)

3 共同募金会支会への協力

みどり市支会が実施する一般募金及び歳末たすけあい募金運動の際に市広報紙や社協だよりに募金運動啓発記事を掲載し、募金運動を支援した。

■ 居宅介護等事業(介護給付・予防給付)

(成果)

- 1 介護保険制度改正に伴うサービス利用者への配慮及びきめ細やかな対応に努めた。

(課題)

- 1 利用者の入院、施設入所並びに感染拡大防止による利用控えに伴い介護報酬が減少した。今後も引き続き質の高いサービス提供により、利用者に満足していただけるよう努めることが必要である。

1 居宅介護支援事業

利用者主体のもとに介護相談、要介護認定申請代行、関係機関との連絡調整、介護計画(ケアプラン)作成、保険給付管理、介護予防、生活支援(住宅改修)など対象者への継続的支援を行ったが、利用者の入院、施設入所並びに新型コロナの影響で利用控えがあり前年度と比較して報酬額が下回った。今後は医療と介護の連携をより一層図り、利用者主体としたサービス提供に努めていきたい。

(1) 居宅介護支援

事業所名	延支援計画件数	居宅介護報酬額
居宅介護支援事業所笠懸	384 件 (+30)	4,546,750 円 (+57,530)
居宅介護支援事業所大間々	601 件 (-67)	7,115,880 円 (-704,380)
居宅介護支援事業所東	295 件 (-129)	3,997,500 円 (-1,705,640)

(2) 予防給付支援

事業所名	延支援計画件数	予防給付報酬額
居宅介護支援事業所笠懸	120 件 (+70)	562,100 円 (+301,430)
居宅介護支援事業所大間々	239 件 (+5)	1,072,680 円 (+49,140)
居宅介護支援事業所東	22 件 (-9)	102,490 円 (-34,120)

2 訪問介護事業

介護給付対象の利用者に対し、身体介護や生活支援(家事援助)サービスを提供し、希望に即したサービス提供体制の推進に努めた。また、利用者や介護者の意向に沿った支援を提供した。介護報酬について、笠懸では一時的な身体介護や毎日訪問の利用者の増加などで介護報酬が増え、東では身体介護中心の方の入院・入所・死亡等があり減った。

これからも利用者のきめ細かい要望に応え、利用者の拡充につながるよう実施したい。

(1) 訪問介護ステーション

	実利用者数の年間平均	延訪問回数	介護支援報酬額
笠懸	18.8 名 (-0.7)	2,681 回 (+414)	8,873,595 円 (+1,592,425)
東	11.3 名 (+1.6)	1,328 回 (-137)	5,066,180 円 (-921,990)

3 通所介護事業

東地域のみでのサービス提供。サービス提供事業所が少ない地域であるが、その分細かな所に目を届かせ、配慮する事で介護負担の軽減、より活動的な生活ができるようなサービス提供に努めた。家族や地域形態の変化により高齢者の在宅生活が施設入所へと移行したことでサービス提供数は減少しており、運営として厳しい状況であるが、地域で信頼される施設となれるよう努めていきたい。

(1) デイサービスセンター東

実利用者数の年間平均	延利用者数	介護支援報酬額
29.2名 (-2.6)	3,572名 (-285)	25,062,030円 (-1,588,880)

4 要介護認定調査業務【受託事業】

みどり市の依頼に基づき介護給付費受給申請者のもとに訪問し、要介護認定にかかる調査業務を行った。今後も適宜実施していきたい。

事業所名	延認定調査件数	調査委託収入額
居宅介護支援事業所笠懸	0件 (±0)	0円 (±0)
居宅介護支援事業所大間々	0件 (±0)	0円 (±0)
居宅介護支援事業所東	9件 (-20)	29,700円 (-66,000)

5 総合事業の訪問介護事業

総合支援対象の利用者に、生活支援サービスを提供し、利用者の希望に即したサービス提供体制の推進に努めた。介護報酬について、笠懸では総合支援から介護に移行した利用者が多かったため減少し、東では利用者の身体機能低下に対応して訪問回数を増やして身体支援や家事支援を提供し、報酬が増えた。

これからも利用者のきめ細かい要望に応え、利用者の拡充につながるよう実施したい。

(1) 訪問介護ステーション

	実利用者数の年間平均	延訪問回数	1人あたり平均回数	介護支援報酬額
笠懸	19.5名 (-0.4)	1,468回 (-34)	6.3回 (±0.0)	4,356,740円 (+66,010)
東	6.0名 (+0.4)	405回 (+96)	5.7回 (+1.1)	1,405,050円 (+352,310)

6 総合事業の通所介護事業

(1) デイサービスセンター東

在宅生活及び心身機能の維持向上を図れるよう、自主的に脳トレができるようにするなど支援方法を工夫した。

実利用者数の年間平均	9.0名 (+1.2)
介護支援報酬額	2,671,660円 (+370,780)

■ 障害者居宅介護等事業

(成果)

1 利用者の要望に応えることで、自立した生活のための支援ができた。

(課題)

1 よりよいサービスを提供するために、職員の研修や資質の向上が必要である。

1 居宅介護事業

利用者の希望に即した生活支援（家事支援）や身体介護等を提供した。
 笠懸では身体介護中心の利用者が、介護保険に移行するなど利用者の減少があった。

(1) 訪問介護ステーション

	実利用者数の 年間平均	延訪問回数	1人あたり 平均回数	介護支援報酬額
笠懸	4.8名 (-1.9)	418回 (-260)	6.9回 (-1.6)	1,172,190円 (-719,200)
東	3.2名 (+0.3)	199回 (±0)	5.2回 (-0.6)	909,740円 (-112,800)

■ 施設管理運営【市指定管理受託】

(成果)

- 1 感染防止対策を徹底し、それぞれの施設について適正な管理運営に努めた。

(課題)

- 1 コロナ禍においても、市民に安心して安全に施設を利用いただけるよう引き続き管理運営していく必要がある。
- 2 学童保育所においては、令和4年度から親老児童館が笠懸小学童クラブと笠懸西小学童クラブへと分離されるため、利用者の混乱がないよう運営していく。

1 親老児童館

放課後児童健全育成に関する制度に基づき、感染防止対策を行いながら開所することで、利用申請した児童に対し、放課後保育支援を行った。また、利用時間の延長に対応し、子育て支援の充実を図った。

(1) 第1親老児童館(こだまクラブ・のぞみクラブ・はやてクラブ)

年間開館日数	287日 (+2)
延利用人数	22,168名 (+3,737)
平均利用人数	77.2名 (+12.5)
保護者会の開催	0回 (±0)

(2) 第2親老児童館(ひかりクラブ・やまびこクラブ)

年間開館日数	279日 (-6)
延利用人数	15,041名 (-529)
平均利用人数	53.9名 (-0.7)
保護者会の開催	0回 (±0)

(3) 行事等の実施[第1親老児童館・第2親老児童館]

月	行事内容
4月	・避難訓練(地震) ・お楽しみ会(対面式)
5月	・誕生会 ・避難訓練(火災)
6月	・不審者対策避難訓練 ・交通安全教室
7月	・七夕まつり ・誕生会
8月	
9月	・防災の日(避難訓練(地震)) ・誕生会 ・十五夜
10月	・十三夜
11月	・誕生会 ・総合防災訓練
12月	・クリスマス制作 ・クリスマス会
1月	・お楽しみ会 ・誕生会
2月	・節分 ・避難訓練(火災)
3月	・ひなまつり ・誕生会 ・お別れ会

2 笠懸東学童クラブ

放課後児童健全育成に関する制度に基づき、感染防止対策を行いながら開所することで、利用申請した児童に対し、放課後保育支援を行った。また、利用時間の延長に対応し、子育て支援の充実を図った。

(1) 第1笠懸東学童クラブ(宙クラブ・虹クラブ)

年間開館日数	293 日(+3)
延利用人数	14,328 名(+1,453)
平均利用人数	48.9 名(+4.5)
保護者会の開催	0 回(±0)

(2) 第2笠懸東学童クラブ(星クラブ)

年間開館日数	289 日(-1)
延利用人数	7,294 名(+849)
平均利用人数	25.2 名(+3.0)
保護者会の開催	0 回(±0)

(3) 行事等の実施[第1笠懸東学童クラブ・第2笠懸東学童クラブ]

月	行事内容
4月	・お楽しみ会(新入所生歓迎会) ・避難訓練(火災)
5月	・節句
6月	・不審者対策避難訓練 ・誕生会
7月	・七夕
8月	・夏休みの遊び
9月	・誕生会 ・十五夜 ・敬老の日
10月	・十三夜
11月	・総合防災訓練
12月	・クリスマス制作 ・誕生会 ・クリスマス会
1月	・お楽しみ会(正月遊び)
2月	・節分 ・避難訓練(火災)
3月	・ひなまつり ・お楽しみ会(お別れ会) ・誕生会

3 障害者福祉センター

みどり市における在宅障がい児・者の地域支援機関として、地域活動支援センター、障がい者デイサービスセンター及び相談支援事業所を運営した。

(1) 地域活動支援センター

利用者が地域において自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、創作的活動及び生産活動の機会を提供するとともに地域との交流を図った。

新型コロナの影響で各種行事の中止や外出による活動の制限、緊急事態宣言等の重点警戒期間には利用の自粛や利用日数の制限等の協力を求めるなどの対応を図った一方、利用ニーズには最大限応じることにも努め感染防止対策を最優先にサービスの提供に努めた。また、5名が新たに入所登録(うち、1名は当年度内に退所)となった。

年間運営日数： 242 日
 年間利用人数： [西館] 3,232 名(1日平均 13.4 名)
 [東館] 414 名(1日平均 1.7 名)
 年間工賃総額： 790,053 円
 在籍者数： [西館] 24 名(令和 4年 3月 31日現在)
 [東館] 26 名(同 上)

[行事等]

月	行事内容
4月	
5月	
6月	・あさがお栽培 ・鹿田山さつま芋植え ・じゃがいも掘り ・誕生会
7月	・運営委員会
8月	・誕生会
9月	
10月	・鹿田山さつま芋掘り
11月	・避難訓練 ・地域清掃活動 ・誕生会
12月	
1月	
2月	・運営委員会(書面開催) ・誕生会
3月	・じゃがいも植え

その他、調理実習、図書館見学、季節ごとの外出、スポーツ体験などを実施。

ボランティアによる読み聞かせは新型コロナの影響で休止。

[特別支援学校実習生(就業体験)受け入れ]

11月 県立渡良瀬特別支援学校高等部より 2名(見学)

[利用希望者の実習(体験利用)受け入れ]

8月 地域活動支援センター(東館) 1名
 11月 地域活動支援センター(東館) 1名
 12月 地域活動支援センター(西館) 2名

[一般ボランティア体験希望者の受け入れ]

4月～ 地域活動支援センター(東館) 1名

(2) 障害者デイサービスセンター

重度心身障がい者の通所の場として、養護、生活支援、日常動作訓練、食事、送迎、入浴サービスを行い、地域生活を支援するとともに、介護を行う家族の負担軽減を図った。新型コロナの感染拡大期には一時的な利用自粛をお願いした一方で、利用ニーズには最大限応じることにも努め、感染防止対策を最優先に通常どおりのサービスの提供に努めた。また、1名が退所となったが、新たに1名が入所登録となった。

年間運営日数： 242 日
 年間利用人数： 898 名(1日平均 3.7 名)
 在籍者数： 10 名(令和 4年 3月 31日現在)

[行事等]

月	行事内容
4月	・機能訓練
5月	
6月	・誕生会
7月	・機能訓練 ・運営委員会
8月	・機能訓練 ・誕生会
9月	・機能訓練
10月	・機能訓練
11月	・機能訓練 ・誕生会 ・避難訓練
12月	・機能訓練
1月	・機能訓練
2月	・機能訓練 ・運営委員会（書面表決） ・誕生会
3月	・機能訓練

その他、図書館見学、季節ごとの見学(散策)、散歩外出などを実施。
 ボランティアによる読み聞かせは新型コロナの影響で休止。

[実習生受け入れ]

なし

(3) 相談支援事業所

障がい児・者の基本的な相談に応じるとともに、サービス等利用計画作成のための相談、障害支援区分認定調査業務などを行った。より迅速な相談対応と円滑な支援のため連絡体制の充実を図った。□

①年間相談（支援）件数と計画相談等介護報酬

年間相談（支援）件数	延 2,994 件 (-477)
計画相談等介護報酬他	4,566,250 円 (+1,364,920)

②相談支援を利用している障がい者等の人数

	実利用人数	実利用人数の障がいの内訳						その他
		身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	
障がい者	140 名	13	0	24	93	17	3	1
障がい児	3 名	0	0	0	0	2	0	1
合計	143 名	13	0	24	93	19	3	2
(前年比)	(-4)	(-4)	(±0)	(+3)	(-6)	(+10)	(+1)	(-1)

(内、11名は障がいの重複あり)

③支援方法

	訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	その他	合計
件数	435 (-4)	75 (-31)	144 (+41)	547 (-163)	145 (-36)	15 (+9)	1,563 (-306)	70 (+13)	2,994 件 (-477)

④支援内容（重複あり）

内容	件数
福祉サービスの利用等に関する支援	1,844 件 (-342)
障がいや病状の理解に関する支援	4 件 (+3)
健康・医療に関する支援	399 件 (-118)
不安の解消・情緒安定に関する支援	40 件 (+12)
保育・教育に関する支援	44 件 (-23)
家族関係・人間関係に関する支援	42 件 (+13)
家計・経済に関する支援	246 件 (+88)
生活技術に関する支援	40 件 (-19)
就労に関する支援	55 件 (-114)
社会参加・余暇活動に関する支援	6 件 (+2)
権利擁護に関する支援	248 件 (+44)
その他	332 件 (+14)
合計	3,300 件 (-440)

(4) その他

①みどり市障害者福祉センター運営委員会

第1回の会議は通常通り会議形式、第2回の会議は書面協議にて計2回開催し、施設の円滑な運営と障害者福祉の向上について協議した。

②みどり市障害者福祉センター保護者会

新型コロナの影響で、第1回目目の会議は、役員会を実施し前年度の活動状況や会計報告等、会員へは書面による報告とした。その後の運営に係る協議事項等については役員間の電話連絡等による調整の方法とした。

③つばさまつり

新型コロナの影響で事業を中止した。

実施日	中止
実施場所	

4 厚生会館

住民福祉の向上と市民活動を推進する地域施設としての施設運営に取り組んだ。今後も市民活動と地域福祉の向上に努めたい。

年間運営日数	218 日 (+25)
年間利用人数	3,166 名 (-2,480)
平均利用人数	14.5 名 (-14.8)

5 老人憩の家

地域の高齢者に対し、心身の健康増進及び教養の向上やレクリエーションなど楽しむ場を提供することを目的に、管理運営を行った。

新型コロナの影響で、例年より運営日数・利用人数は少なかった。なお、運営にあたっては利用者の安全を考慮して感染防止対策を行った。

	笠懸	大間々
年間運営日数	95日 (+95)	0日 (-103)
年間利用人数	1,243名 (+1,243)	0名 (-4,123)
平均利用人数	13.1名 (+13.1)	0.0名 (-40.0)
その他	—	—

6 老人福祉センター

新型コロナの影響で警戒度に応じた休・開館となった。開館時は利用者への検温、消毒及び施設内の換気消毒を行い感染防止対策を徹底した。

通常再開後は、地域の高齢者に対し、教養の向上や交流のための場を提供し、心身の健康増進が図れるよう管理運営を行いたい。また、引き続き感染防止対策を徹底し、安心・安全な施設運営に取り組むたい。

年間運営日数	192日 (+41)
年間利用人数	4,160名 (+2,626)
平均利用人数	21.7名 (+11.5)

7 高齢者生活福祉センター

高齢等により、居宅において自立して生活することに不安のあるひとり暮らしの方等に対し、一定の期間の住居を提供し、自立生活できるよう支援・管理運営を行った。感染防止対策を徹底し、利用者や職員等の検温・酸素濃度測定、館内の換気消毒を徹底し事業継続に努めた。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
既入居者	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0
新規入居者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
退出(退居)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
月末在籍	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0

■ その他

1 視察等の受け入れ なし

2 後援・共催

期日	項目・事業	主催団体
令和3年7月13日～11月16日	令和3年度みどり市笠懸地域高齢者大学	みどり市笠懸公民館